

院内感染防止 対策研修会を開催しました

10月15日（月）当院大会議室にて感染対策委員会主催の院内感染防止対策研修会を開催しました。今回のテーマは「インフルエンザと感染性胃腸炎の対応について」です。手洗いの効果の確認と、それぞれの感染症の特徴や感染防止対策を改めて学ぶ良い機会となりました。



1 石けんとアルコールの比較

1. アルコールは石けんと流水よりも殺菌力が高い
2. アルコールは手指衛生に必要な時間を短縮できる
3. アルコールは手指を迅速に乾燥させることができる



石けんと流水	細菌の減少数	アルコール	細菌の減少数
15 秒間	1/4 ～ 1/12	15 秒間	1/3000
30 秒間	1/63 ～ 1/630	30 秒間	1/10000 ～ 1/100000

アルコールが効きにくい菌もある！！

- ・ノロウイルス
エンベロープの無いものはアルコールに耐性
- ・クロストリジウム・ディシフィル
グラム陽性桿菌には芽胞形成が多い



2 インフルエンザ

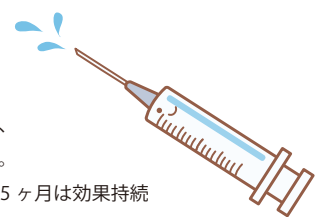
主として環境表面からの接触感染や飛沫感染、くしゃみ、咳等のしぶきを吸入することにより感染する。

院内感染を防ぐには

- ・水際対策…来院時の問診、面会者の制限
- ・接触感染予防…手指衛生（手洗い＋アルコール消毒）
- ・間接的な接触感染予防…環境清掃
- ・環境クロスで除菌は可能
- ・飛沫感染予防…咳エチケット、うがい
- ・予防接種の推奨…季節性インフルエンザワクチン

ワクチン

- ・不活化ワクチン
- ・鶏卵アレルギーに注意
- ・効果は約 40 ～ 60%程度発症を予防し、発症しても重症化を防ぐとされている。
- ・抗体上昇のピークは、1 ヶ月、その後 5 ヶ月は効果持続



インフルエンザには
アルコール消毒が効く！

3 ノロウイルス

感染性胃腸炎の発生状況で 11 月～ 2 月の 9 割以上がノロウイルスです。

ノロウイルスの特徴

- ・感染、増殖する部位は小腸。
糞便の処理に加え、嘔吐物の処理も重要！
- ・アルコールが効きにくい。

ノロウイルスには
次亜塩素酸ナトリウムが効く！

汚物の処理の対応

- ・使い捨て個人防護具の着用
- ・立入りの制限
- ・十分な換気
- ・効果的な殺菌剤の使用
（適切な濃度で常備する）
- ・広範囲の清浄化
- ・処理後の手洗い
（処理後は 2 度手洗いを）



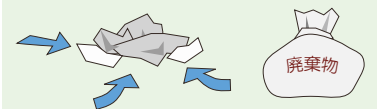
- 1 汚物に次亜塩素酸ナトリウム溶液 0.1% 希釈液をまんべんなくかける



- 2 ペーパータオルで 10 分間 覆う



- 3 吐物の周囲から中心へ向けて吐物を集め 0.1% 次亜塩素酸ナトリウム液を含ませたペーパータオルで拭く



今月のお花

小林華道連盟の皆様から、
すばらしいお花をいただいています。

